リフレクションペーパー

	建築・デザインgakka							
科目名	建築・デザイン演習 Ι							
科目区分		専門科目			単位数	3	開講時期	1年次前記
必修・選択 の別	3	建築工学コーク	ス/必修科目	建築	コース/必修	- 科目 デサ	・インコース/必修科	·目
担当者			松本 誠一	飯田 -	一博 佐野	正樹 嶋岬	埼 浩樹	
授業の 到達目標 (シラバスから)	・座具についての基本的性能を理解して、デザインコンセプトを立案できる。(A6, B6) 材料等の与えられた制約条件を理解して、合理的な解決案を導きだせる。(A6, B6) ・自らのイメージをスケッチ・模型で具体的に表現できる。(A7, B6) ・機械製図の基礎を習得し、自らのデザインを図面で具体的に表現できる。(A7, B6) ・自分の作品を他人にわかりやすく説明できる。(A7) ・スケジュールを計画でき、その計画の中で到達目標を達成できる。(A6)							
日程と内容	第1回 4/12 導入講義:授業の進め方と授業概要の説明、成績評価法、課題提示 等第2回 4/28 製図道具等の説明 アイデア展開 1/コンセプトの立案、スケッチで考える第3回 5/3 模型制作 1/模型で考える 図学 1/線の種類っと用途、第三角法第4回 5/10 模型制作 2/模型で考える、色彩 図学 2/第三角法と立体スケッチ第5回 5/17 模型制作 3/1/3模型、着色 図学 3/三面図第6回 5/24 中間発表1/3模型 講評会 図学 4/三面図第8回 6/7 1/3模型修正 図学 5/三面図と寸法表記第9回 6/14 座具のデザイン確定 図学 6/座具の三面図・寸法表記第10回 6/21 安全講習会 1 図学 7/座具の板取り図第11回 6/28 安全講習会 2 制作 1 図学 8/座具の板取り図第12回 7/5 安全講習会 3 制作 2第12.5回 7/5 安全講習会 4 制作 3第13回 7/12 制作 4第13.5回 7/12 制作 5 講評 1第15回 7/19 講評 2 7/5と7/12は 5 限目をそれぞれ補講し、1回分の補講を実施した。合計の授業回数は15回を実施							
成績評価基準	臨 報告書・ 調	試験  試験  レポート  題  習	609		部タ プレゼン	₹技 ト評価 テーション 計		20%
	非常勤を含む4細かい人の教員で対応したので(前年度までは3人)、極めの細かい対応ができた。ほとんどの受講生は、デザイン・設計・制作を経験したことがない。そのような受講生を対象にしていることを考慮すれば、授業の到達目標は達成できた。不合格者の3名は、座具の制作ができていない(制作放棄)。							
授業到達目標 の達成度	講生は、デザイ	ン・設計・制作	を経験したこ	とがない	。そのような	受講生を対象	象にしていることを考り	
	講生は、デザイの到達目標は記	ン・設計・制作 達成できた。 不 	を経験したこ 合格者の3名 の理解が不一	ことがない 名は、座具 	。そのような。 具の制作がで 	受講生を対象 きていない(  。そのような	像にしていることを考り 制作放棄)。 一 受講生は授業時間に	慮すれば、授業
の達成度	講生は、デザイの到達目標は近の到達目標は近	ン・設計・制作 達成できた。 不 あるが、図面の いすことができ	を経験したこ 合格者の34 	ことがない 名は、座具 	。そのような。 具の制作がで 上が複数いる 需教生の減少	受講生を対象 きていない(  。そのような	像にしていることを考り 制作放棄)。 一 受講生は授業時間に	慮すれば、授業
の達成度 反省点 来年度の計画 授業評価アン	講生は、デザイの到達目標は近例年のことでは具の制作に生た	ン・設計・制作 達成できた。不 あるが、図面の かすことができ を踏まえて、授 評価は7.9. で行っているの	を経験したこ合格者の3名の理解が不っていない。こ業計画を立ってマイクを使	とがない 名は、座 十分ようなが で直したい さって講義	。そのような。 そのような。 その制作がで 主が複数いる まが教生の減少 い。	受講生を対刻きていない( 。 。そのようないに努めたい	像にしていることを考り 制作放棄)。 一 受講生は授業時間に	慮すれば、授業 